

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS 南校		
○保護者評価実施期間	2024年10月29日		～ 2024年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりに適したタイミングで「たのしいね」「うれしいね」などの声掛けを支援の中ですること。	目線を合わせ、単語や一語文など短い言葉で話す。	児童発達支援の子の目線に立って伝える。
2	家庭や他施設での取り組みを情報共有している。	沢山声掛けをする、褒める。	コミュニケーションを些細なことでも取る。
3	自発的に動けるように、教具の配置など利用者に応じて変えている。	好きなことを中心に行い、サポートする。	家族や他施設でやっていること、やってほしいことなど聞き取りを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援の子たちが使用できる教具が少ない。	児童発達支援の子たちが使用できる教具が少ない。	感覚遊びや手遊びを取り入れる。
2	放課後等デイサービスの子と利用時間が重なると、支援が難しくなる場合がある。	児童発達支援から放課後等デイサービスに移行するにあたっての支援内容。	今ある教具で使い方を工夫し、トレーニングの幅を広げる。
3	児童発達支援の子の人数が少ない。	平日12時45分の利用率や13時45分の空きが多い。	SNSや口コミなどで情報発信を行う。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	S.I.C.KIDS南校				公表日	2025年3月25日	
					利用児童数	12人	回収数 10件
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1	0	0		・子ども一人ひとりの成長や、時間帯により窮屈さを感じている場面があるので、教具の配置などを工夫しスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0		・法令を遵守し、職員同士サポートし合いながら配置していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	0		・新たに通い始める子どもが増えているので、視覚的に分かるような工夫などをしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	1	0	・埃などを見かけることがある。	・日々の清掃だけでなく、支援後の清掃も徹底していきます。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		・新たに発見した課題などを分析しながら支援を実施していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		・支援内容から外れることが無いよう、プログラムの見直しなどをしていきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		・ニーズや課題をしっかり分析し、支援計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	1		・保護者の方々からの情報や子ども達の様子などを踏まえ、子どもに必要な支援を設定していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		・今後も支援計画を基に、子ども達の支援を継続及び日々改善していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0		・当日の子ども達の様子を踏まえながら、活動プログラムに組み込んでいきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3	0	6	1		・本部主催のファミフェスの案内や、地域でのお祭りの案内をしています。
保護者への説明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		・丁寧さだけでなく、わかりやすい説明をしていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		・「この支援はどのような意味があるのか」など、保護者の方々からわかりやすい説明をしていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	0	2	・面談等で困りごとを伝えられた際にもう少し具体的かつ専門的な解決策やアドバイスが欲しい。	・保護者の方々の必要に応じて研修会などの紹介をしています。参加した保護者の方からのご意見などを踏まえると、「参加して良かった」という声もあるので、引き続き紹介をしていきます。 ・ご期待に添えるようにスキルアップを目指します。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1	0	0		・支援中の様子や気付いたことを、保護者の方々にお伝えしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	0		・必要に応じて、助言などの支援を行います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1	0	0		・保護者の方々からの思いを汲み取りながら、必要な支援を行います。

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	2	4	・様々な検討をし、ご家族やきょうだいで交流イベントを開催する際は、案内をします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	0	・支援中だけでなく、営業時間内であればご相談の場を設けることが可能です。遠慮なさらず、いつでもご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0	・今後も個々に合わせ情報伝達の間を整備していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	0	・定期的に南校公式Instagramを更新していますので、ぜひご覧ください。 ・引き続き南校公式LINEや掲示物にて、様々な情報を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0	・今後も個人情報の取扱いに十分注意していきます。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	1	・利用契約時に緊急時対応マニュアルの方をお渡ししています。 ・定期的に訓練や会議を開いています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	0	2	・月に1度、支援時間中に避難訓練を開催しています。避難訓練後は「どのような訓練をしたか」掲示していますので、ぜひご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	0	・子ども達の特徴に合わせながら、安全な支援が行えるよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	1	・怪我が発生した際、どのような処置をしたのか、発生時の状況や様子などを適切に説明していきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0	・今後も安心感をもって通所できるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0	・今後も通所を楽しみにできるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	・今後も満足ができるような支援を継続していきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	S.I.C.KIDS南校		公表日 2025年3月25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・こども達の特性や利用定員を考慮し、活動内容を変えています。	・今後も継続をしていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・S.I.C.KIDS南校にまだ慣れていないこどもや、当日のこども達の状態を見て、サブコーチをつけています。 ・出勤の兼ね合いもありますが、配置数の調整を行っています。	・季節の変わり目や環境の変化を強く感じてしまうこども達は少なくないので、適切に職員配置をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・声掛けでなく、視覚的アプローチをしています。	・教員の絵カードはありますが、動作の絵カードがありません。作成するか検討中です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動内容によって、窮屈に感じる場合がありますが、こども達と一緒に「何ができるか」「どのようにすれば楽しめるか」を考えています。	・今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・ワンフロアのため、必要に応じてマットなどを立てて個別の空間を作っています。	・今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・日々職員間で情報を共有しています。	・今後も継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・意向等を把握する機会の計画、検討を実施しています。	・今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・情報共有や職員のなかで意見の発生、相違があった場合などに合わせて、話し合いをしています。	・今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・業務改善のためにも第三者による評価をしてみたいという意見もあるので、必要に応じて行いたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・積極的に研修の情報収集や、研修に参加できる機会を確保しています。	・個々で参加する研修だけでなく、事業所が参加する研修にも参加していきたいです。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・S.I.C.KIDS公式ホームページにて公表しています。	・今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・モニタリングや支援中のこども達の様子、保護者の方への聞き取りなどを基に、支援計画を作成しています。	・今後も継続していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員が作成したものに必ず目を通した上で、検討をしています。	・今後も継続していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画を基に、支援を行っています。	・今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・支援中常にこども達の行動等を観察しています。 ・支援経過記録にこども達の様子等を記載し、次回利用時に変化があるか再度観察と確認をしています。	・今後も継続していきます。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・適切に支援内容を設定しています。	・今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・支援計画を基に、職員同士でプログラムを立案しています。	・こども達や保護者の方からの案を頂く場面もあるので、活動プログラムに組み込んでいきたいと思っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・職員をローテーションしたり、前回利用時の支援経過記録を確認し、プログラムが固定化されないようにしています。	・今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの成長や特性を考慮し、支援計画の作成および支援を行っています。	・今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼及び支援開始前に一日の流れや、当日行う支援内容の連絡や確認をしています。	・今後も継続するとともに、意思疎通を図ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終礼時に当日発生した出来事や翌日以降の支援のために、報告や連絡及び相談をしています。	・今後も継続するとともに、意思疎通を図ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の支援は支援経過記録に記録し、職員間で情報を共有しております。	・今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度モニタリングを行っております。	・モニタリングを行う前に、職員から見た気になる様子などをまとめ、保護者の方と確認していきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・参加が可能な場合、管理者が担当者会議に参加しています。	・今後も継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・該当なし	・必要に応じて、連携できる体制を作っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・該当なし	・必要に応じて、情報共有できる体制を作っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・該当なし	・必要に応じて、情報共有できる体制を作っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・定期的な招集があるので、事業所内の予定を合わせ可能な限り参加をしています。また、必要に応じてアドバイスを受けています。	・今後も継続していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・本部主催のファミフェスが毎年ありますので、お声がけしています。	・今後も継続していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援終了後や受け渡し時に、職員からのお声掛けをしたり、保護者の方が相談しやすい環境を整えています。	・今後も継続していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者向けセミナーなどが開催される際、LINEや掲示物などで案内をしています。	・保護者の方から「このセミナー良かった」という感想をいただいていますので、今後も継続していきます。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・ 契約時に説明をしています。 ・ 質問があった際、保護者の方へ説明できるようにしています。	・ 伝わりにくい内容が数多くありますので、説明の仕方を改めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・ 定期的なモニタリングやこども達の普段の様子を基に、保護者の方と確認を取りながら作成をしています。	・ 今後も継続していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・ 支援計画をお渡しする際に、保護者の方からの要望や新たな課題を踏まえて変更した部分などを説明しています。	・ 今後も継続していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ 相談があった際はその場で回答せず、必ず職員間で情報を共有し、最適な回答ができるようにしております。	・ 今後も定期的な面談を継続していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・ S.I.C.KIDS南校では、父母の会などを開催していません。	・ 現在、開催をするか検討中です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・ 相談の申し入れがあった際、保護者様の日程に合わせて対応しております。	・ いつでもお気軽にお問い合わせください。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ S.I.C.KIDS南校の公式LINEやInstagram、玄関先の掲示物でお知らせしています。	・ S.I.C.KIDS南校を知っていただくためにも、魅力のある投稿をしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・ 施錠可能なロッカーの使用や、使用した書類を必ず元の場所に戻すなど徹底をしています。	・ 今後も継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ 絵カードの使用やカメラ、動画撮影、文字などを使用して説明をしています。	・ 現在、新たな絵カードを作成するか検討中です。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・ 今後のニーズに合わせて検討していきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・ 各種マニュアルを策定し、保護者の方に配布と説明をしております。	・ 数カ月や年度ごとに見直しをしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・ BCPに基づいた避難訓練の実施や、備蓄品の確認などを行っています。	・ 様々な非常災害に対応できるようにしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・ 契約時に保護者の方から聞き取りや、アセスメントシートに記入していただいています。	・ 職員間で情報を共有していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・ 該当なし	・ S.I.C.KIDS南校では、おやつを含む食物の提供をしていません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・ 毎月重点的に点検をする箇所や、重大事故に対するマニュアルを利用者玄関口に掲示しています。	・ 今後も継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・ 契約時に保護者の方に説明をするとともに、ご家族緊急連絡先を複数人記入していただいています。	・ 今後も継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ 作成したものを職員間で共有しています。	・ ヒヤリハットから事故発生に繋がらないよう、発生する要因を減らしていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・ 定期的な虐待防止委員会や勉強会をしています。	・ 今後も継続していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・ 必要に応じて個別支援計画に記載し、保護者の方に説明をした上でサインを頂いています。	・ 万が一、身体拘束をする場面の発生や実施があった場合、保護者の方に必ず報告を行い、記録を残していきます。	